第3グループガバナー補佐に関するご報告

新千葉ロータリークラブ 会長 飯高 健

2020年12月17日、現第3グループ7クラブ及び第4グループ千葉港RC会長宛に、漆原ガバナー、梶原ガバナーエレクト連名にて「2021-22年度第3グループガバナー補佐として 清田浩義氏（千葉RC所属）を仮委嘱する」との内容の文書が届きました。

第3グループからは、千葉RC清田氏、千葉幕張RC始平堂氏、当新千葉RC星の3名の推薦がありましたが、同年11月18・20日に行われた地区指名委員会の面接にて、始平堂氏、星が辞退したため、結果清田氏に決定したようです。

これにより、本年度に続き2年連続で千葉RCからガバナー補佐が輩出されることとなります。

始平堂氏と星の辞退は、下記の理由によるものです。

始平堂氏が千葉幕張RCから推薦された経緯は、「新千葉RCの順番であることは承知していたが、梶原GEより始平堂氏に直接依頼があり、新千葉RCには話をするということがあったので、クラブに推薦を出してもらった」とのことです。（推薦締切同年8月20日）

しかし、梶原GEから当クラブに対してガバナー補佐に関する話があったのは、9月2日の例会時が初めてで、その時には始平堂氏に決めているとの内容でした。事前に当クラブの意向を確認する手続は一切ありませんでしたので、正に寝耳に水の直ちに承服しがたい報告でした。

そのため、始平堂氏、星の2人の間で事実の確認を行い、星は「新千葉RCに話などなく梶原GEが嘘をついていたということである」始平堂氏は「9月2日の梶原GEの新千葉RC卓話でルール違反の始平堂で決まっている等の看過できない内容である」そのような状況では役職に就くことはできないという結論に至ったとのことです。

頭書の文書が送付される約2週間前の同年12月2日、梶原GEが当クラブ例会にお越しになり、同年9月2日当クラブ例会でのご自身の発言の数々に対し謝罪の言葉を述べられた上で、「ガバナー補佐に新千葉RCから星氏に就任していただきたい」との発言がありました。

おひとりでお越しになり、ご自分の非を認め謝罪されたことに対しては一定の敬意を表しますが、指名しない旨を伝えられてから既に3ヶ月も経っており、その間、とってつけたように第3グループ各会長からのヒアリング、候補者面接までを行い、結果、本命の始平堂氏の辞退の後に、消去法での就任依頼と謝罪をされたところで、到底受け入れられるものではありません。もし仮に、本当にお気持ちがあるのならば、早々に、少なくとも地区指名委員会に事態の収拾を依頼する前に伺いたかったです。

当クラブの総意としましても、このような状況の中で当クラブ会員がガバナー補佐に就任することは望んでおりませんので、結果に対して申し上げることは何もありません。

しかしながら、漆原ガバナー、梶原ガバナーエレクトの姿勢、これまでの発言に対しては、何も納得していませんし不信感が募るばかりです。

今後はリーダーとして、事実即した丁寧な手続を経て、且つ、誠意を持って物事に対応していただくことを希望します。

最後になりましたが、当クラブに対し17クラブと14名の会員の皆様から激励のお言葉を頂きました。ロータリーの友情に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。